

EMC技術による製品化支援事業の成果

【相手先企業】

新光電子（株）、他3社

【目的】

国内外で電磁波についての法規制強化（例：薬事法によって医療用電子機器の持つべきEMC[電氣的ノイズへの対応]性能が定められた）や各展示会でのEMC講座の盛況、といったように、近年EMCがますます注目されるようになりました。これは、電気・電子機器の高速処理化・高密度実装が急速に進んだこと、無線通信の普及による電磁波の氾濫が起きていることなどから、EMCが非常に重要になったためです。これまでの、そしてこれからのEMCへ対応するため、本事業では、EMCについての計測・試験・対策・評価等といった技術の提供により、企業の「ひとつ上に行く」製品の開発を支援しています。

【内容】

下記の写真はこの事業で製品化を支援した機器の一例です。この例では、当該企業で製造する電子はかりや小物品寸法質量測定装置において、目指すEMC規格（EN規格[欧州]）に適合するように、設計や対策などについて技術面からのアドバイスを行いました。

【成果】

上記の結果、目指していた規格に合う製品が当該企業において開発されました。加えて、製品開発時の注意点や改善点を明確にすることができました。

他の企業の製品に対しても、電気測定において問題となった電氣的ノイズの低減（ノイズ源の特定とシールド）や低ノイズ化（ケーブルへのノイズ対策・電源フィルタの改善等）を図る事により、規格を満足する製品の設計・開発を支援致しました。

今後、医用電子機器のEMC対策やGHz帯域（ETC等）への対応といった分野への取り組みをよりいっそう強化することも検討しています。



写真1：電子はかり



写真2：小物品寸法質量測定装置

（参考：<http://www.vibra.co.jp/>）

基礎となった事業：EMC技術による製品化支援事業

担当部署：技術基盤部門（チームマイクロ波）